

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	154	1年	後期	看護学科	必修	疾病発生の機序 Pathogenesis	30	1
担当教員								
則松 良明		細川 翔						
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学術的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
臨床検査の基礎とその疾病に関連する知識と技術の基礎を学修するため、手術材料、剖検材料などの実物の肉眼像、レントゲン・CT・MRIなどの各種画像、診断のために有用な各種染色標本を使用して、疾病の成因を細胞や組織の正常状態から病的な形態的变化を通じて、系統的に把握、理解することができるようになる。								
到達目標（授業目標）								
① 疾病が発生する種々の原因が説明できる。								
② 先天異常や遺伝子異常の原因や細胞・組織学的変化が説明できる。								
③ 細胞の物質代謝障害が炎症などの組織障害を引き起こし、それらが臓器障害や循環障害を引き起こす過程が説明できる。								
④ 炎症に関与する種々の細胞の役割やそれら炎症細胞が、身体の細胞や組織に及ぼす影響が説明できる。								
⑤ 免疫の機構、免疫反応とアレルギーの過程とともにそれらが引き起こす組織障害が説明できる。								
⑥ 腫瘍発生の原因や腫瘍化による細胞や組織変化、さらにそれらの変化が体に及ぼす組織障害が説明できる。								
⑦ ①から⑥の総論を踏まえて、循環器系、呼吸器系、消化器系、内分泌系、泌尿・生殖器系、婦人科系などの各論において、炎症・免疫や腫瘍の発生と細胞・組織変化、さらに身体に及ぼす影響が説明できる。								

回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）
1回	疾病発生の原因：疾患の原因として生物学的因子、化学的因子、物理学的因子などから起こりうる疾病について講義する。(担当:細川翔)
2回	先天異常と遺伝子異常：奇形の種類、染色体異常や遺伝子異常から発生する疾病について講義する。(担当:細川翔)
3回	代謝障害：細胞における種々の物質(糖質、脂質、蛋白質など)の代謝障害が引き起こす細胞障害(萎縮、変性、壊死など)とともに、波及して起こる組織障害の結果、発生する糖尿病などの疾病が、臓器や身体に及ぼす影響について講義する。(担当:細川翔)
4回	循環障害：虚血、充血、うっ血、出血などの種々の循環障害で引き起こされる細胞や組織の変化とともに、それらが原因で発生する疾患(血栓症、塞栓症、梗塞など)における細胞や組織の変化が身体に及ぼす影響について講義する。(担当:細川翔)
5回	炎症：炎症に関与する細胞とそれらの役割、さらにそれらの炎症細胞が身体の細胞・組織に及ぼす影響(炎症の種類)について講義する。(担当:細川翔)
6回	免疫：免疫の機構と関与する細胞の役割とともに、アレルギーが身体の細胞・組織に及ぼす影響(アレルギーの種類)について講義する。また、免疫不全、膠原病、自己免疫疾患についてその成因と身体の細胞・組織に及ぼす影響について講義する。(担当:細川翔)
7回	腫瘍：腫瘍の原因と発生機序、さらに腫瘍が身体の細胞・組織に及ぼす影響について講義する。(担当:細川翔)
8回	各論 循環器：虚血性心疾患(狭心症と心筋梗塞)、心膜炎、脳梗塞、肺梗塞、動脈硬化、動脈瘤などについて、その成因と身体の細胞・組織に及ぼす影響について講義する。(担当:則松良明)
9回	各論 呼吸器系：肺炎、肺線維症、肺気腫、無気肺、肺癌などについて、その成因と身体の細胞・組織に及ぼす影響について講義する。(担当:則松良明)
10回	各論 消化器Ⅰ：食道静脈瘤、食道癌、胃の炎症、胃潰瘍、胃の異型上皮、胃癌、腸の炎症性疾患(クローン病、潰瘍性大腸炎)、大腸癌などについて、その成因と身体の細胞・組織に及ぼす影響について講義する。(担当:則松良明)
11回	各論 消化器Ⅱ：肝炎ウイルスの種類と急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変症、肝細胞癌などについてその成因と身体の細胞・組織に及ぼす影響について講義する。(担当:則松良明)
12回	各論 内分泌系：下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、膵臓ランゲルハンス島などの内分泌器官における機能亢進・低下症、腫瘍について、その成因と身体の細胞・組織に及ぼす影響について講義する。(担当:則松良明)
13回	各論 泌尿・生殖器系：腎糸球体病変、腎腫瘍、尿路上皮腫瘍、子宮癌、卵巣腫瘍、乳腺腫瘍などについて、その成因と身体の細胞・組織に及ぼす影響について講義する。(担当:則松良明)
14回	各論 造血臓器系、神経系、感覚器系、運動器系など：白血病、リンパ節の非腫瘍性疾患、悪性リンパ腫、脳梗塞、くも膜下出血、アルツハイマー病、脳腫瘍、糖尿病性網膜症、骨肉腫、悪性黒色腫などについて、その成因と身体の細胞・組織に及ぼす影響について講義する。
15回	病理組織標本作製手順：病理組織標本作製に必要な固定、脱灰、包埋、薄切、染色等について講義する。(担当:則松良明)
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	
成績評価方法及び基準	
受講態度(10%)と筆記試験(90%)で評価する。トータル60点以上を合格とする。	
教科書	[看護学科]大橋健一・谷澤徹・藤原正親「系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [1] 病理学」(医学書院)
参考図書等	

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

資料ファイルをE-studyに掲載します。必ず資料と教科書の該当箇所を熟読して理解できていない部分を明確にして授業に臨んでください。

関連科目

前科目	144	人体の構造・機能Ⅰ	145	人体の構造・機能Ⅱ	146	人体の構造・機能Ⅲ			
後科目									

実務家教員

臨床検査技師（医療機関）	則松 良明	細川 翔				

備考

授業前に配布している資料ファイル(E-study)を活用して、授業内容を「記憶」しているのではなく、「理解」できていることが自覚できるように学習してください。疑問点はオフィスアワー（学生専用ページから曜日時間を確認してください。）を活用して質問しに来てください。